



令和4年度総会の報告

桜の季節も終わり、日に日に暖かくなってきました。会員の皆様方には、お元気にお過ごしのことと思います。

M顧問の挨拶から始まった総会



さて、4月17日（日）に開催しました「京都北部国際支援ネット」総会は、20名の会員の参加を得るとともに、ご都合で出席できなかった会員すべての皆様より委任状をいただき、無事、終えることができました。

第1号議案から第4号議案まで、全員の賛成によって可決されました。

その後、交流会ではプロジェクターを使い、1年間の取組を映像で振り返りました。

その中では、高校2年生になるAさんから、高校での学習の大変さ、その中で私たちから支援を受けて学習に頑張っている様子、また、T総務のもとでの「生け花やお茶」の楽しかった体験も含めて発表がありました。

交流会でスピーチされるNさん。



総会・交流会全景。今年も京都市内からNさんをご参加くださり、メッセージをいただきました。



この総会を取材に来られた読売新聞の記者さんにより、早速4月18日の朝刊で、写真付で総会の様子が掲載されました。

交流会でのAさんの発表

私はN高校2年生のAです。日本に来て6年目になりました。去年、N高校に入学しましたが、今までに色々なことがありました。

中学校の時は、後野先生に週に2回、1対1で2時間、勉強を教えてもらいました。クラスの授業についていくために、後野先生は私に数学・理科・英語、そして漢字を含めた日本語を教えてくださいました。テストの時にも、私は別の教室に行って、そこで先生にサポートしてもらいました。

Tさんの生け花が、文字通り会に花をもたせてくださいました。



しかし、高校では私は勉強に2倍の努力をしなければなりません。なぜかというところと中学校とは違って、後野先生との1対1の勉強がないし、またテストでは同級生と同じように、全て1人で受けなければなりません。それで私は、勉強やテストをサポートなしで受けることができるようにするために、毎週水曜日は英会話に行き、土曜日は聖母訪問会でU先生・S先生・後野先生たちに、数学や理科、英語などを教えてもらっています。

また、滝花先生には週3回、スカイプを使って国語を教えてもらっています。そのおかげで、わかるようになったことがたくさんあります。本当にうれしいです。

ところで、私は去年の夏、T先生に生け花と茶道を教えてもらいました。生け花を初めて見たのは、小学6年の時だったのを覚えています。T先生に教えてもらった後、家に持って帰り、玄関に飾りました。10日ほど過ぎると花が枯れました。バザールに行ったらきれいな花が売

発表するAさん。左横は左下写真(ホームページでは略)「Rさんからの母語による支援」のRさん親子。



プロジェクター投影画像

「Rさんからの母語による支援」

(個人名が出ているため略)

ってあったので、買って帰り生けました。花がとてもかわいかったです。茶道は中学校の部活にありました。自分で実際にやってみると、とても難しかったです。でも、美味しかったです。生け花や茶道は機会があったら、ずっと続けてみたいので、T先生！また、教えてください。

私は今年2年生になりました。私は今までよりも頑張っていて、去年より成績を上げたいと思っています。うまく行く事もあると

思うけど、失敗することもたくさんあると思います。私は後野先生にサポートしてもらっている中で、よく聞きました。「先生！間違ってもいいですか？」と。その時、先生はいつも言われました。「いいよ、間違っても。でも、同じ間違いを何度もしてはダメだよ」と。先生はこの言葉を5年間ずっと私に言い続けてくださいました。それで私は何かに取り組むとき、いつも後野先生のこの言葉を思い出しながら取り組んできました。これからも励みにして頑張りたいです。



3年生になったTさんは、都合で総会には出席出来ませんでしたが、音声によってメッセージを発表してくれました。

Tさんからの音声メッセージ

こんにちは。N高校3年生のTです。今日、本当なら直接お話をしたかったのですが、用事があるため、この場に参加することが出来なくなりました。楽しみにしていましたが、とても残念です。

私は日本に来て、今年でちょうど3年になります。自分としては、日常生活の中で、日本語で困る事は少なくなったと思っています。でも、言葉の言い回しなど、時々、何が正しいのかわからないと思う時があります。もっと語彙力を高めたいと思っています。

私が日本に来てから、国雄先生や、まゆみ先生、Y先生やS先生達に大変たくさんのお話を教えて頂きました。そのおかげで、信じられないほど成績が上がりました。本当に感謝しています。これからも、もっともっと頑張りたいと思います。

今年は特に、入学試験のこともあって、今まで以上に努力しなければならないと思っています。私の希望する進路は看護学校に行くことです。受験科目は国語、数学、英語、そして小論文です。国語の力を伸ばし数学のスキルも上げていきたいです。それと、面接の受け方を身に付けたいと思っています。私は面接を今までに1度しか体験したことがないため、面接がすごく苦手で、不安です。そのために、これからも先生方に、ご指導をお願いしたいと思っています。

どうかこれからもよろしくお願いします。

.....

第5号議案の令和4年度の役員は、下記の皆様に立候補いただき、ご承認いただきました。今後、この役員で会を進めて行きますが、会員の皆様のご協力があつての私たちの活動です。楽しく、仲良く、粘り強く、取り組んで行きたいと思っています。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年度新役員（ホームページでは代表、副代表以外はイニシャルで）

顧問：M〇〇〇 代表：後野国雄 副代表：滝花利朗 事務局長：S〇〇〇

総務（理事）：Y〇〇〇 〇〇〇〇 T〇〇〇 I〇〇〇

令和元年から総務（理事）としてご活躍いただきましたIさんは、大変多忙となっておられます。引き続き会員としてはご協力いただきますが、総務（理事）は抜かれる事となりました。今まで総務（理事）として、本当にお世話になりました。心よりお礼を申し上げますと共に、今後とも会の取組へのご協力を、お願い致します。

新役員から「よろしくお願ひします」

◎後野国雄（代表）

2022年（令和4年）度からお世話になります役員の方々は、現役で働いておられたり、地域で様々な活動をされていたり、同じ趣味や夢を持った仲間の人達と活動をされていたりと、大変多忙の中で、このネットのために引き受けて頂いた方ばかりです。

ここ数ヶ月、ウクライナの状況を日々ニュースで見聞きする度に、「ロシアという大国によってなぜあのような悲惨な戦争を起こすことができるのか？人間のやることか？」と、信じられない思いがしているのは、皆さん同じだと思います。そして、ウクライナの人々は避難民となり、故国を離れて日本を含む世界中に避難せざるを得ない状況となっています。ウクライナだけでなく、いろんな国から外国の人達が日本にやって来ていますが、とりわけ、言葉や文化・習慣の違い、そして学校での学習が理解出来ない中で、多くの児童・生徒が学習困難や不登校に陥っています。また、外国籍市民の方たちも安定した職業が得られない状況にあることは周知の通りです。そのような児童・生徒、市民を支援しながら、互いに交流し合い、共同して、より豊かで、平和で、安心して生活できる社会を目指すことを目的として、令和元年に結成したのが、この京都北部国際支援ネットです。

結成当時は20名弱だった会員も現在は40名近くになり、会の活動も積み上がってきました。その組織の運営に8名の役員の皆さんと相談し、連携し、ゆっくりと会を進めて行きたいと思います。会員の皆さんもそれぞれに出来る事で結構です。仕事の関係の情報、知識、近所の外国籍市民の方との交流、また、その方が困っておられたら会へ連絡、地震や台風などの非常事態の時の情報の伝達・支援、出来る事はたくさんあります。いつもやろうと思うと長続きしません。ゆっくり、できることで協力をお願いします。

役員の方には、お世話になります。よろしくお願ひします。

新役員からの一言

◎Yさん（総務）

他の総務の皆さんと協力して、ネットの取り組みが計画通り進んでいけるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

新役員からの一言

◎Mさん（顧問）

～～多文化共生社会を目指し、一人々が集う場であり、人とのご縁がすべて～～

2019年（令和元年）9月に京都北部国際支援ネットワークを設立して、人と地域、企業、小中高生の学校等のネットワークを構築することにより活性化を目指した活動をするを基礎理念として、種々実践をしながらようやく創立4周年を9月に迎えます。

この間、私達の広域的な活動も諸分野で認知される様になり、舞鶴市在住外国籍人対象教育指導等を始め、様々な面で助成も戴く中で、国連サミット加盟国全会一致で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）を目標に、今まさに次のステップへ進もうとしております。

現在は過去の努力の結果であり、未来はこれからの私達の努力で決まります。

新しい体制2022年度のもと、更なる発展に向けて、すべての関係者がお互いを尊重し、高め合い、自らの多文化共生社会文化に更に磨きをかけ、地道に頑張っって参りたいと思っています。

本年度も一層のお力添えを戴きます様、心からお願い申し上げます。

◎Oさん（総務）

ある時、外国の人に言われたことがあります。「日本人にはホスピタリティ(Hospitality)がある」と。その時は、何となくしか分からなかったのですが、褒め言葉とは感じました。その方は、1年で国に帰られたのですが、言葉が通じない人が日本に来て住み続けられるのは本当に大変なことだと、知れば知る程分かってきました。今、私は後野先生の助手として、バングラデシュの人達に、日本語を教える手伝いをさせてもらっていますが、話す事はできても読み書きが難しいようです。私が英語を理解できないのと同じです。自分の事ばかりを考える人が多い世の中で、この会の方々には本当に頭が下がります。微力ですが、出来る事を精一杯させて頂きたく思います。どうか宜しくお願ひします。

◎Tさん（総務）

2019年にKNISの会に入れて頂き、学習面ではお手伝いできませんが、日本文化を体験してもらおうと、生け花や茶道を、N高校の女生徒、後野先生の奥さんや娘さん達と楽しんでいます。先日の総会の席で、Aさんが、お花が枯れたら買って来て生けますと発表されたとき、嬉しくて涙が出ました。日本の文化を、もっともっと体験してもらい、教えてあげたいと思っています。私も夢を一杯もっています。何よりも、この会は皆仲良く和やかな楽しい雰囲気大好きです。もっと生徒さんを増やし楽しみたいと思います。私の出来ることがあれば、お手伝いさせてください。※読売の記者さん、シリーズで時々出席させてくださいとのことです。頑張ります！！

新役員
からの
一言

◎ I さん（総務）

私が、教員在職中から大切にしてきたことは、様々なハンディのある子どもに対し、彼らに常に寄り添い、彼らの内面を理解しようとしてきたことです。そして彼らが将来への展望が開けるよう関わってきました。退職後も学力課題、発達障害など何かしらハンディのある生徒・児童の支援を続けています。日本語支援も、彼らの生きづらさや将来への不安を少しでも和らげ、将来の夢が持てて実現できるよう、微力ながら支援をしていきたいと考えています。どうかよろしくお願ひします。

◎ S さん（事務局長）

今年度も事務局長をする櫻井です。よろしくお願ひします。

私はN高校で教員をしています。このN高校には、京都北部国際支援ネットをスタートするきっかけにもなったTさんが三年生に在学しており、今年はいよいよ次のステップに向けて受験を控えています。また、中学校で本ネットが支援を続けてきたAさん、Yさんも在籍しています。義務教育段階では、舞鶴市の支援を受けていましたが、高校生になると、公的支援が難しく、当ネットが様々な形で支援を続けています。その結果、彼女たちは、学校生活も意欲的にこなし、学業成績も良好です。中学校で日本語支援を受けてきた生徒達に高等教育をどう保障し、将来の進路を切り開いてやるかは、これからも抱え続ける重要な課題だと思います。私は毎日彼女たちと接する機会もあり、学校生活のサポートなど私の立場でできる限りの支援を続けようと思っています。日本語を母語としない児童生徒が、日本での社会的、経済的自立ができるようになる社会を共に目指しましょう。

◎ 滝花利朗（副代表）

たとえば「文庫本」という語句が出てきたとき、Aさんは読めない。というより、よく聞くと、彼女の日本語の語彙の中に「ブンコボン」がない。「文庫本（ブンコボン）」を買ったことも読んだこともない。ことほどさように、僕が「あたりまえ」と思っている「こと」「言葉」が、彼女には「あたりまえでない」。こういう例は、毎回の勉強会で、何十回となくある。僕が「知っていてあたりまえ」と思っている「こと」「言葉」が、Aさんには「あたりまえ」ではないのだ。日本語支援は、この原点から始まると思っている。僕は、自分にこびりついている「あたりまえ」を排してAさんと対話したいと思う。Aさんを通して、僕にこびりついている「あたりまえ」が、くだかれる。支援という対話を続けます。

「日本語学習教室」の清掃、 及び周辺の草刈りについて（お願い）

総会も皆様方のご協力により終わり、私たちの取組も新たな出発をしました。日本語学習・教科学習支援を受けている生徒達は、それぞれの学校や聖母訪問会で、先生方や私たちの支援のもとに頑張っている様子です。

つきましては下記の日程にて、標記の「日本語学習教室」の清掃、及び周辺の草刈りを実施します。都合のつく方は無理のない程度での参加をお願い致します。

1. 期日 令和4年6月5日（日）午前9時～11時。現地集合。
 2. 作業 聖母訪問会（日本語学習教室）の清掃、及び周辺の草刈り。
 3. 準備物
 - ア. マスク（各自でお願いします）
 - イ. 草刈り機、熊手等を持参できる方はお願いします。（燃料、お茶等は準備します）
 - ウ. 雑巾など教室の清掃用具は全て現地にありますので、持参して頂く必要はありません。
- * 体調の悪い方や、お仕事のある方は決して無理をしないで下さい。
* 雨天の場合は中止します。
* 参加できる方は事前にご連絡下さい。連絡先は下記の通りです。
事務局電話 後野 090-8887-5921 Fax 0773-77-6111
* メールアドレスをご存知の方はメールでお知らせ頂いても結構です。



学校での日本語・学習支援が始まる

今年も舞鶴市内の小・中学校には、日本語が母語でないため「読めない、書けない、聞いても内容が理解出来ない」児童・生徒が少なくありません。

日常会話は、来日して数ヶ月もすればできるようになります。日常会話で使う文や単語は極めて限られているからです。「お早う」から始まり、「何してんの？」、「昨日、何のテレビ見た？」、「何して遊ぶ？」、「氷鬼しよか？」、「バイバイ」、「さようなら」と、20前後の文章があれば友だち間の会話は成立します。

しかし、学習で使う用語や文章は日常会話とは全く異なっています。小学校で学習する漢字だけでも、1年（80字）、2年（160字）、3年（200字）、4年（202字）、5年（193字）、6年（191字）、計1,026字です。中学校では、3年間で1,110字を学び、小、中学校を通して2,136字の常用漢字を学習することになります。この漢字の読み書きと、それらを使った文章の読み取りが理解出来ないと、教科書や問題集、参考書は読むことも

内容を理解することもできません。

また、仮に読めても、英語のイデオム（熟語）と同じで、日本語の言い回しや熟語の理解、また説明文は、日本語を母語としない児童・生徒にとっては、日本文化や歴史の理解が不十分であることと相まって、その理解は本当に大変なのです。

ですから、日本の学校で学習を始めたその時から、日本語や教科学習に対する系統だった指導・支援がないと学習について行けず、学力が定着せず、結果的に学校嫌いや不登校生徒を生み出すことにつながってきます。事実、国の調査によると、高校での不登校生徒の率は、日本籍の生徒に比べて外国籍生徒は5倍という、信じられないほど高い数値になっているのが現実なのです。

そのような中で、舞鶴市がここ15年以上にわたり、外国籍生徒や日本語を母語としない児童・生徒に対して、「日本語・学習支援」を行う支援員・指導員を学校に派遣し、年間120時間の支援を行う事業に対し予算計上を継続してきていることは、私たち市民としても本当に嬉しく思っています。また、誇りに思います。この委託事業を受託し取り組んでいる私たちネットは、そのやりがいを感じ、支援生徒の明るい未来の実現のために日々頑張っています。この取組は、学校現場に入っている支援員だけでなく、会員の皆さんのいろんな支援を受けて取り組んでいることを報告させていただきます。

今年もフィリッピン、アメリカ、セルビア、中国を含めて、10名を越える児童・生徒の支援事業が舞鶴市から委託されました。舞鶴市教委や当該学校長と連絡をとりながら、その支援を5月連休明けから始めています。

この児童・生徒たちや、2年間の支援を受けて高校へ進学し、さらに次の目標に向かって学習したい生徒たちが、聖母訪問会で土曜日を中心に学習しています。

また、この直接的な指導・支援だけでなく、教室や周辺の教会内の草刈り、雑木の伐採・除去、さらには田畑の耕作等、ネット会員の協力によって、楽しく安心して学習できる場所になっています。これは、児童・生徒の日本語や教科学習を支援する上での大きな課題である学習会場の維持という点で、本当に支えとなっています。

また、補助金も得ず、営利事業も行っていない私たちネットにとって、会員の皆様から頂いている会費が、会を運営する上で唯一の経費の源です。児童・生徒のテキストや教材費として使わせて頂く上でも、会を運営していく上でも、大きな力となっています。今後とも皆様のできる範囲で、また、ゆっくり長い目で、支援をお願いします。

(同じようなことを何度も繰り返しましたが、会員の皆様への私〔後野〕の熱い思いが、そうさせるのです。どうかご了承ください。)



(文責：滝花、後野)

この「つなぐ」へのご意見、ご投稿等は下記へお寄せ下さい。

後野国雄 携帯TEL 090-8887-5921

滝花利朗 自宅TEL 0773-44-1734

メール t.takihana@nike.eonet.ne.jp